

---

# 学会報告

---

## マス・コミュニケーション学会

1993年度秋季研究発表会報告

「皇太子結婚報道の実態と影響に関する実証研究」

水野博介(埼玉大学)

1993年6月9日(水)、皇太子成婚における史上2回目のテレビによる儀式およびパレード中継がなされた。史上初だった前回から34年ぶりのことである。

我々は皇太子成婚報道を社会学者のダヤンとカツツにならって「メディアイベント」の一事例とみなし、その意味と影響を考察しようとした。儀式的なメディアイベントの場合、主役たちと観衆との相互作用が重要である。観衆の反応がなければ、儀式は空虚なものでしかない。それ故、儀式的なメディアイベントにおいては、特に「パレード」というものが重要な役割を演じている。今回の学会発表は、現代におけるメディアイベントの重要な事例である皇太子成婚に関するテレビ報道に注目し、それを首都圏の大学生たちはどう見たか、また、特にパレードについて、実際のパレードを現地で見た沿道住民はどう見たか、を質問紙調査と現地における観察およびインタビュー

で明らかにしようとした。

「パレード」についての現地とテレビ放映の違いに関する古典的な研究として有名なものに、アメリカのラング夫妻が参与観察を行ったマッカーサーのシカゴパレードがあり、日本でも35年前の皇太子成婚パレードに関する東京大学新聞研究所の研究があった。いずれもテレビ草創期のもので、テレビを通じて歴史的なイベントを目撃するというところに大きな価値があった。現地で目撃した人々とテレビでそれを見た人々の反応を比較すると、いずれの事例でも、テレビの優位性とでも言うべき結果が得られている。すなわち、テレビでそのイベントを見た人々は、まさに期待通りの映像をそこに見出し、満足を得たのである。それに対して、現地でそのイベントを目撃した人々の多くは、長時間待たされたあげく、せいぜいちらっとパレードが見えた程度であり、周囲の人々の歓迎ぶりも予期したほどの盛り上がりはなく、大きな

## 学会報告

欲求不満を抱いたまま、その場を後にしたとされる。

今回の研究では、テレビがすでに40年の歴史を数え、視聴者の方も相当に“成熟”していると考えられる。テレビで大きなイベントを見ることは、もはやありふれた経験であり、現地でそれを見ることの方がむしろ価値が高いのではないかという仮説を立てた。

35年前の沿道調査によれば、家族のうち一人でもパレードに出かけた世帯は、わずか17.1%だったが、今回の沿道調査では、留置した調査票の郵送回収率は44.2%であり、おそらく半数の世帯では誰かがパレードに出かけたと推定される。また、前回の調査では、マスメディアによって肥大した期待を抱いて現地におもむいた人々の多くは失望したと結論づけているが、今回の調査で、実際のパレードが全くあるいはまあ期待通りだったとする回答は合計64.2%に達しており、仮説通り現地で見たことに大きな価値を認めていることがわかった。但し、多くの方は帰宅後テレビでもパレードを見ており、テレビと現地ではどちらが良かったかという質問への回答結果はほぼ互角であった。パレードにおいて何が期待通りで何が期待はずれかに関する回答からすると、結局、歴史的イベントとし

てのパレードや結婚した二人を見たいという「見る」ことへの期待が最も強かったと推定される。結婚そのものを「祝福する」ことは第二義的だったと思われる。これは、マッカーサーのパレードについての研究結果と一致している。

今回の成婚関連番組が大学生に及ぼした影響については、アンケート結果から推定するが、まず、男子学生はこれらの番組への関心が一般に薄く、たとえば当日夜の番組で最も見られたのは、サッカーのJリーグとプロ野球の試合であった。それに比べて、女子学生は結婚関連番組への接触率がより高かったが、その共感の対象は雅子妃の方であった。皇太子についてのイメージは、男女の学生ともあまり明確なものではなく、「なんとも感じない」が6割を占めたが、女子学生の間では「親しみを感じる」が36%で男子学生よりも10%高かった。

皇太子の不鮮明なイメージとは対照的に、雅子妃についてマスメディアが創り出した明確で好ましいイメージを女子学生たちは受け入れたようである。雅子妃が結婚をどのように受け入れたかについてもマスメディアの解釈を信じる傾向があり、「皇太子の誠実さや真剣さに打たれた」と考える学生が、

男子では4割にすぎないが、女子では7割に達したのである。ただ、今日の大学生の意識を反映してか、外交官という「キャリアを捨てたことはもったいない」とする女子学生が4割を超え、「結婚によって幸せになればキャリア

のことは関係ない」が3割を超え、一番多かった男子学生とは好対照をなしたのであった。

(以上は、東洋大学社会学部の三上俊治教授と共同で行った研究の一部である)。

クロスワードパズルの答え

8	4	6		10	3	1	
8	9	3	1	4		8	3
5	3		3	5	9	1	
9		2	4	6	9		3
3	1	8	1		4	5	10
	2	1		3	8	6	7
8	9	4	8	9		5	10
7	6		1	4	5	6	